



三春中学校だより

第 60 号

発行日 令和 2 年 2 月 26 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【環境は人が作り、環境の中で人は育つ！～よりよい学びの環境づくりに努めます。～】

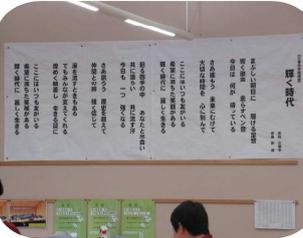
町学校評価システムアンケートの〔設問 2 2〕『学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている』と〔設問 2 3〕『学校が生活の場として清潔で美しく整っている』への肯定的回答は、それぞれ 9 5. 2 %と 1 0 0 %でした。

これまでも、子どもたちのホームベースのロッカーの整理整頓や教員による机並べ、細部にわたる清掃への取組、雑巾がけに整えて掛けられた雑巾、雪かきボランティア、教科教室や特別教室の掲示など、『学びの環境づくり』への取組につきましてはその都度お知らせしてまいりましたが、開校して 8 年目を迎える今後も、子どもたちが学びやすい環境づくりに継続して努めてまいりたいと覚悟です。どうぞ、学びの環境づくりに対しまして、今後とも忌憚のないご意見等をお寄せいただけますようお願いいたします。

〔設問22〕学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている。



〔設問23〕学校が生活の場として、清潔で美しく整っている。



【デュアル実習発表会に参加してきました！ ～船引高校の発表から学ぶ。～】

町学校評価アンケートの〔設問 9〕『学校は将来の進路や生き方について系統的に指導している』への回答のうち、8 6. 2 %の保護者のみなさんより肯定的評価をいただいています。また、同じく〔設問 1 3〕『先生に子どものことについて相談できる』への回答では、8 1. 4 %の保護者のみなさんより肯定的評価をいただいています。

〔設問9〕学校は将来の進路や生き方について系統的に指導している。



〔設問13〕先生に、子どものことについて相談できる。



3 年生は 3 月 4 日（水）・5 日（木）の県立高校入試を控え、詰めの段階に入っていますが、1・2 年生は来年・再来年の入試にむけ、ますます真剣に進路について検討していくとともに、保護者のみなさんと学校もより具体的な進路相談等が必要になってまいります。これまでの子どもたちの取組を認め励ましつつ、今後どのように進路に向き合っていくのかについても学校・学年・担任としても個に応じつつ明確にしていきたいと思いますので、どのようなことでも結構ですので、学校等にご質問・ご意見等をお寄せいただけますようお願いいたします。

さて、2月20日（木）の午後には、田村市文化センターにおいて、船引高校の『デュアル実習発表会』が開催され、参加してまいりました。開会式には、船引高校の校長先生はもとより、田村市唯一の高等学校ということもあり、田村市長様、田村市教育長様もおいでになりました。

受付に掲示されたデュアル実習の掲示、発表会の中での実習参加者による発表の中には、高校における進路学習やデュアル実習を通して学んだからこそわかる、働く上での大切な、いくつかのキーワードがちりばめられていました。いくつか挙げてみると、“責任感”、“仕事は積極的に自分から見つける”、“仕事はコミュニケーション力・あいさつ・笑顔”、“限られた時間の中で段取りよく取り組む”、“臨機応変な行動や工夫”、“報告・連絡・相談（ほうれんそう）”などです。いかがですか。これらのキーワードは、家庭においても、学校の日常生活においてもよく登場する言葉です。

毎日の学校生活の一つ一つの活動に、ともに、ひたむきに、そして、こころ豊かに取り組んでいる三春中学校の生徒のみなさんにとって、集団や社会の中で充実感を感じながら生活していけるようになることはそれほど難しいことではなさそうな気持ちを抱いて会場を後にしました。日々の真摯な取り組みをこれからも働きかけていきたいと思えます。



【学校だよりが60号を数えます！ ～ご覧いただきありがとうございます。～】

学校の広報官として、これまで、子どもたちのがんばりや校内外の学校に関係する題材を数多く取り上げさせていただき、この号をもって学校だよりが60号を数えることとなりました。文章が長く読みづらいという方にはダイジェスト版を作成するなど、たくさんのご感想・ご意見をいただきながら、少しでも多くの情報を共有する中で、子どもたちの教育にご家庭とともに携わっていきたいという考えのよき発行でした。町学校評価システムの〔設問19〕『学校はその情報を学校・学年便りやホームページ等を通じ保護者に伝えている』の肯定的評価が98.8%でしたが、〔設問16〕『学校の教育方針や行事、活動などの様子をよく知っている』の肯定的評価は83.8%で、16.2%の保護者のみなさんへはさらに伝える努力や工夫が必要なおわかりました。

一方、〔設問18〕『学校では子ども・保護者に関する個人情報適切に保護されている』への肯定的評価は100%にはなりません。今後とも学校だよりには顔や個人名を極力掲載しない方針の下、できるだけたくさんの子どものがんばりを紹介し、子どもたちの励みとなるよう、また、保護者のみなさんと情報を共有し、子どもたちのよりよい成長をともに促してまいれるようがんばりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

